

令和元年10月6日に発生した台風19号は、10月12～13日にかけて関東地方から北日本の太平洋側を中心に大雨や暴風をもたらし、東日本地域で甚大な被害が発生した。宮城県大郷町では、大雨による河川の増水に伴い一級河川吉田川の堤防が破堤し、中粕川地域、土手崎・三十丁地域のインフラやライフラインに大きな被害をもたらした。また、その支流である味明川や滑川等も氾濫するなど、今なお町民生活に大きな影響を与えている。

出典：「宮城県大郷町：令和2年度 大郷町復興再生ビジョン,令和2年6月.」



図-1 吉田川の堤防決壊の状況①



図-2 吉田川の堤防決壊の状況②



図-3 住家の被害状況（中粕川地域）



図-4 ミニトマト栽培施設の冠水状況